学校名　小中一貫教育校　みらい青空学園（小学部）　学級の名称：あさひ学級

校長　坂本　司　副校長　副校長　田﨑　清文・伊木　文枝・中島　裕人　所在地　旭丘２－４０－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	１	１	３	４	１	３	13
	女	１	０	１	２	０	１	５
	計	２	１	４	６	１	４	18

やさしい心

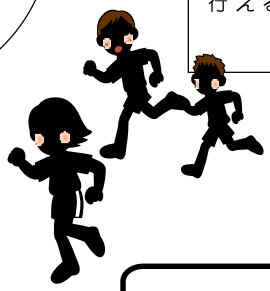
友達との関わりを大切に、思いやりをもてるよう、豊かな心を育てます。

一人でできることが増えて自信が育つ

あいさつ・食事・着脱など、自分のことは自分で行えるよう支援します。

勉強も生活もがんばれる

課題に対して、自分のこととしてすすんで取り組む心、最後までやり遂げる心を育みます。





あさひ学級

集団での関わり

高学年は低学年のお世話をし、集団での関わりの中で成長します。

通常学級との交流

たてわり班での活動や、体育・生活単元学習などでの、交流活動を行います。



子供たちに合った学習

国語・算数などの学習では、子供たちの課題に合わせてグループ別学習や個別学習を行っています。子供たちが「わかる」、「できる」と感じ、自信をもてるよう、支援します。

児童・生徒の交流活動

小中一貫教育校「みらい青空学園」として、中学部の特別支援学級（D組）の生徒との交流活動を行っています。
（給食交流　等）

保護者と共に、子供に向き合う教育

子供の実態にあった教育活動を実践していくために、個別指導計画と個別の教育支援計画を保護者と共に作り、指導・支援を行っています。



学校名　豊玉第二小学校　　学級の名称：コスモス学級

校長　坪倉　一雄　　副校長　白井　清孝　　所在地　豊玉上２－１６－１

☆学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	３	３	０	５	６	２	１９
	女	０	０	１	２	３	１	７
	計	３	３	１	７	９	３	26

コスモス学級



～ひとつひとつの花をさかせよう～

コ　子ども同士のかかわりを大切に

子ども同士のかかわりを大切にし、お互いのかかわり合い、認め合い、語り合い、励まし合い、学び合い…「あい」のある学級をめざします。

ス　好きなこと(興味関心)、できることをさらに伸ばそう

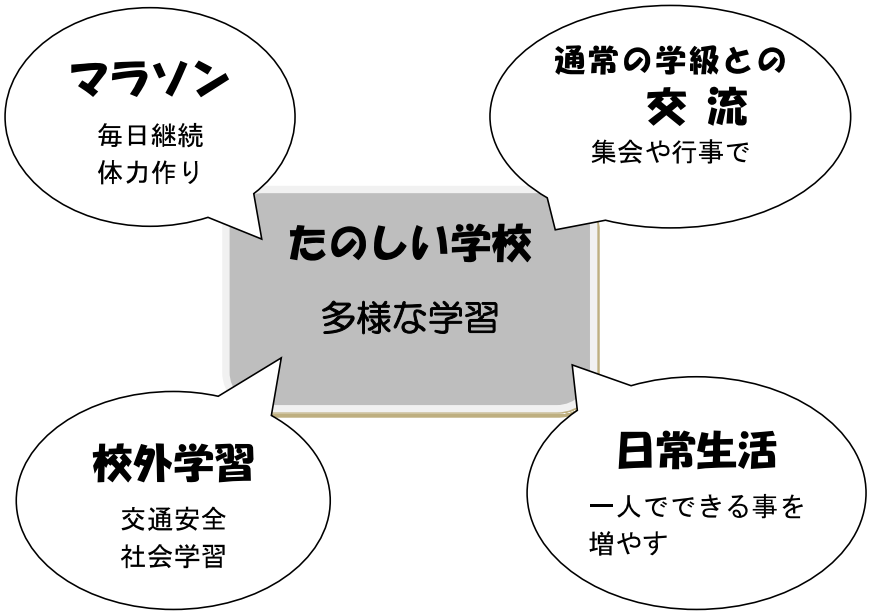
できないことの克服も大事ですが、それよりもできることを更に伸ばすことで、「やりたい」という意欲、「できた」という達成感を大切にしたいと考えます。

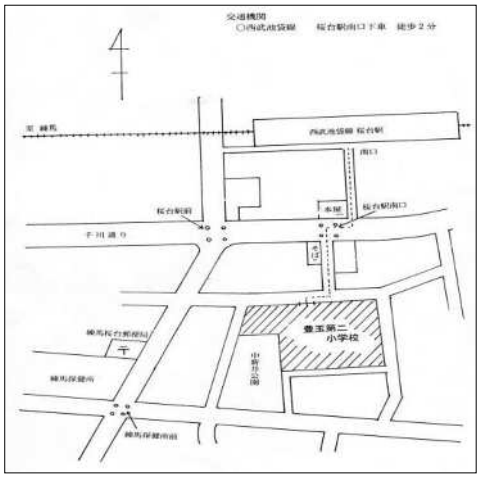
モ　もたせよう自信　すきになろう自分

「できた」という達成感を通して、自信をもてる子どもを育てます。そして、自分を大切にし、自分を肯定的に認め、前向きな気持ちで生活できる子どもを育てたいと考えます。

ス　すすんで取り組もうとする意欲を育てよう

自信をもてることにより、自分からやってみようという意欲を引き出します。人にやってもらうのを待つのではなく、人に言われてから行動するのではなく、自分からすすんで行動しようとする意欲を大切にしたいと考えます。



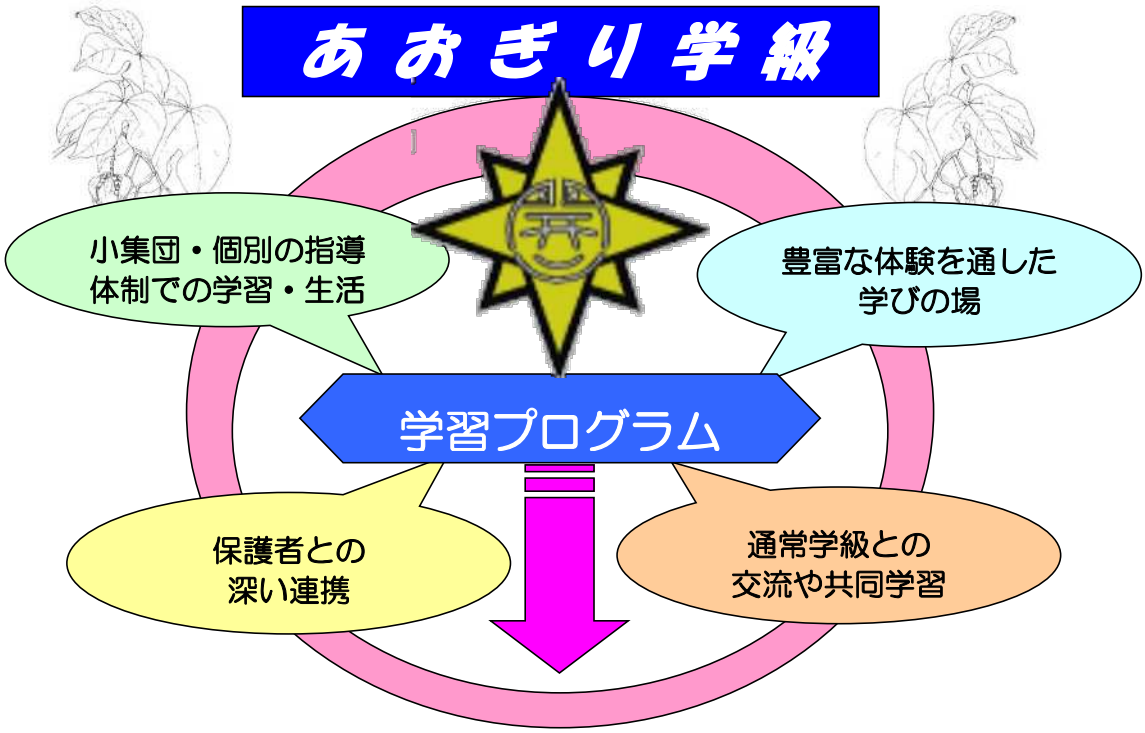


学校名　開進第二小学校　　学級の名称：あおぎり学級

校長　　髙石　直貴　　副校長　　螺良　幸生　　所在地　　桜台５－１０－５

１　学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	３	４	３	５	２	２	１９
	女	１	０	０	４	１	０	６
	計	４	４	３	９	３	２	２５



子供たちが登校したくなる魅力に溢れるあおぎり学級をつくろう

各教科［　国語(図書･書写を含む)・算数・音楽・図画工作・体育　］

○　学習指導要領に則り、基礎的･基本的な学習内容の確実な定着を図ります。

○　特別支援学校の教育課程を軸としつつ、個の発達に応じて通常の学級の下学年に対応した学習･課題を設定し、一人一人の可能性･能力を充分に伸ばす指導をしていきます。

領域・教科を合わせた指導［　日常生活の指導・生活単元学習　］

○　児童の生活課題を考慮しつつ、実態幅の広い児童に対応できる生活単元学習を設定します。

○　朝・昼・下校前に学校生活の流れに即した日常生活の指導を行います。

通常学級との交流

○　通常学級の児童や教職員との交流の機会(学級活動、遠足、クラブ活動、委員会活動　等)を設定し、共に学び、お互いに認め合い助け合う児童の育成に努めます。

保護者との連携

○　学校生活と家庭での様子について日々連絡を取り合い、児童の心理的安定、健康の保持を図ります。また、望ましい生活･学習習慣を身に付けられるよう、協力していきます。



学校名　北町小学校　　学級の名称：すまいる学級

校長　瀧嶋　克己　　副校長　髙山　智子　　所在地　北町１－１４－１１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	４	４	１	９	３	５	２６
	女	０	０	１	１	１	０	３
	計	４	４	２	10	４	５	２９

かしこく

自分のことは自分でする子供

登校時の物の整理、整頓や身の回りの指導、給食の準備と片付け、清掃など、自分のことは自分で行う力を身に付けます。

＊通常の学級との交流

交流及び共同学習を推進し、ともに相手を思いやり、助け合う温かな心情を学級、学校全体で育成します。

- 通常の学級の遠足、運動会への参加。
- 異年齢集団によるたてわり班活動。
- 清掃交流、他。

えがお　かがやく　すまいる学級

＊教科学習・自立活動

個別支援計画に基づき、教育活動全体の中で、個別の実態に応じた学習や自立活動を計画的に進めていきます。

＊宿泊学習と校外学習

自立に向けた生活、体力作り、集団での友達との関わりなど、様々な体験を通して学びます。

やさしく

友達と仲良くする子供

友達との関わりを大切にして、社会性を身に付けるとともに、思いやりや友情など、豊かな心を育てます。

たくましく

丈夫な子供

持久走を行い、体をつくり、体力を高めるとともに、頑張る心を育て、できる喜びを体感します。

北町小学校の特別支援学級は、

「将来に生きるための力」を育てていきます。

1　一人一人の個性を大切にして、よさや可能性を伸ばしていきます。

2　発達段階を考慮した個別指導計画と学校生活支援シートを保護者の皆様とともに作成していきます。



学校名　練馬第三小学校　　学級の名称：かしわ学級

校長　石神　徹　　副校長　飯島　美希子　　所在地　貫井１－３６－１５

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	３	７	７	６	４	７	３４
	女	２	３	１	２	１	１	１０
	計	５	１０	８	８	５	８	４４

かしわ学級では…

それぞれのよさや可能性を伸ばし、「生きる力」を身に付けることができるように、お子さんを支援しています。

そのために…

身辺自立
- 身支度、授業の準備、片付けなど、できるだけ自分でできるように支援します。
- 生活の時間に、日常生活に必要な事項や、手指を使う作業などに取り組んでいます。

体力つくり
- 体育・・・発達段階を考慮したグループを作り、内容を工夫することで、持久力や巧緻性を養います。
- 校外歩行学習・・・近くの公園から始まり、少しずつ歩く距離を延ばしていきます。

体験的な学習
- 社会科的な視点での地域探検、理科的な学習での実験、観察、植物栽培等を行います。
- ３年生以上は、２泊３日の宿泊学習を行います。

豊かな心・表現力
- 音楽・・・手遊び、歌唱、ミニキーボード等の様々な楽器の演奏を通して技能と表現力を育みます。
- 図工・・・様々な素材を使って創造的に作ったり表したりする喜びを味わわせます。

国語と算数
- 国語と算数において学年を混ぜた課題別の小グループ（本年度７グループ）に分かれることで、内容を系統的に学習します。
- ゆっくりじっくり取り組むことで定着を図ります。

人とのかかわり
- 学級内で縦割り班での活動を行い、学年に応じた役割意識や責任感を育てます。
- 通常の学級と交流および共同学習をします。
  集会・クラブ活動・委員会活動・兄弟学年交流・社会科見学
  運動会などで一緒に活動しています。



以上のような学習をしています。

学校名　練馬東小学校　　学級の名称：すずしろ学級

校長　　幅　健司　　副校長　　須賀井　景子　　所在地　春日町１－３０－１１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	３	１０	４	３	５	３	２８
	女	１	５	２	４	２	２	１６
	計	４	１５	６	７	７	５	４４

練馬東小学校　すずしろ学級

自分のことを自分でできるように！

将来に向けて身の回りのことをできるように、繰り返し取り組みます。

ゆっくり・じっくり

グループに分かれて学習することで、自分のペースでゆっくり、じっくり学習を進めていきます。

バランスのよい体

いろいろな動きに取り組み、体の動かし方を学びます。体力や持久力、柔軟性を養います。

分かった！　できた！　楽しい！



関わり合い　認め合い

高学年がリーダーとして、学級引っ張ります。友達の頑張りや個性を認め合いながら、学級の活動を進めます。

体験・経験を大切に！

宿泊学習では、持ち物を準備したり、自分たちで考えたレクリエーションを行ったりします。調理学習では、高学年を中心にメニューを考えます。

交流　～一緒に～

なかよし学級で活動します。
体育発表会・社会科見学などの学年の学習に参加します。



またやりたい！

アクセス

○都営地下鉄大江戸線
　練馬春日町駅下車　徒歩 10 分
○営団地下鉄有楽町線
　平和台駅下車　徒歩 15 分
○西武池袋線
　豊島園駅下車　徒歩 15 分
○国際興業バス
　練馬北町車庫より
　練馬行き（赤０１）
　東中学校入り口下車



学校名　光が丘春の風小学校　　学級の名称：のぞみ学級

校長　内木　勉　　副校長　藤田　紘生　　所在地　光が丘７－２－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	７	５	１	６	５	４	２８
	女	５	２	２	１	２	１	１３
	計	１２	７	３	７	７	５	４１

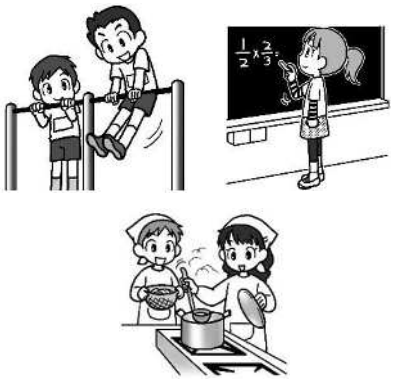
○　のぞみ学級とは、こんな学級です！

〇一人一人の能力や発達に応じた個別指導計画を作成し、個に応じたグループ指導を行います。
〇子供たちにとって身近な事柄を教材や題材として、実際の生活に役立つ知識や技能、態度の獲得を目指します。
〇学習や学校行事を中心に、通常の学級との交流及び共同学習を通して、関わり合いの中で主体的に学ぶ態度を育てます。



○　のぞみ学級では、こんな学習をしています！

〇教科学習（国語、算数、音楽、図工、体育、道徳）
・特別支援学校の学習指導要領を参考にして、実際の生活に役立つ知識や技能の獲得を目指します。
※個別指導計画に基づいて、指導内容を決めていきます。
〇各教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習）
・基本的生活習慣の確立
・制作活動
・野菜の栽培
・調理学習
・宿泊学習などの行事に合わせた、行事単元の学習
※体験的な活動から、実際の生活に役立つ力を育成します。



○　のぞみ学級には、こんな行事があります！

〇遠足・宿泊学習
遠足では、校外での活動を楽しみながら、公共のマナーやルールを学習します。宿泊学習では、自分の身の回りのことに取り組んだり、体験的な活動をしたりします。
〇運動会、学芸会、音楽会、展覧会などの行事にも各学年で、またはのぞみ学級として参加します。



学校名　光が丘第八小学校　　学級の名称：わかば学級

校長　窪田　尚子　　副校長　下鶴　文恵　　所在地　光が丘１－４－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
７	男	６	１１	７	７	７	４	４２
	女	１	１	０	５	０	３	１０
	計	７	１２	７	１２	７	７	５２

“わかば学級”における大切な３つのキーワードの実現を目指し、

習熟度別学習グループによる個別の指導や異学年による縦割り班活動など、

様々な学習形態をとりながら、子供たちの自立を支援していきます。



わくわくしよう！

互いに学びあえる子供同士の関係づくりを目指していきます。

かんがえよう！

発達段階に即した課題で、子供の考える過程を大切にしていきます。

ばりばりいこう！

“分かる楽しさ”“できる喜び”を自信につなげていきます。

国語・算数・生活の教科学習
学びを生かした生活単元学習
自立に向けた日常生活の指導、宿泊学習
通常の学級との交流及び共同学習



学校名　石神井西小学校　　学級の名称：わくわく学級　知的障害学級

校長　高野　博文　　副校長　櫻井　欣也　　所在地　関町北１－１－５

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
５	男	８	５	２	４	１	４	２４
	女	０	２	６	０	２	１	１１
	計	８	７	８	４	３	５	３５

わくわく学級　学級目標

● 明るく元気な子
●最後までがんばる子
●自分のことは自分でできる子
●なかよくする子

子どもの実態
- みんなで楽しくいろいろな活動に取り組むことができる。
- 興味があることに集中し協力して、取り組むことができる。
- 通常の学級の子どもたちとの交流がある。

学校の実態
- 各教科、領域の基礎基本について、児童の実態・発達段階に応じて、実践していく形をすすめている。
- 各学年との交流及び共同学習を実践している。

地域の実態
- 落ち着いた環境
- 地域は学校の教育活動に協力的。
- 児童館、図書館、区民館、ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰなど児童が関わりをもっている施設が多い。

「笑顔あふれる学校」
～感動の共有～
- 「わかるようになった」「できるようになった」喜びにあふれる学校
- 体も心も鍛え、生き生きとした元気あふれる学校
- 人とのかかわりを大切にし、仲良く助け合う優しさあふれる学校
- 家庭及び地域社会に信頼される開かれた学校

育てたい子ども
- 自分のことは自分でできる子
- 自分や友達を大切にし、思いやりの心をもてる子
- 自分の考え思いを伝えることができる子

家庭・地域との連携
- 子どもの声に耳を傾け、認めていく
- 学校と共に子どもを育てる関係



【最寄り駅】
- 西武新宿線　武蔵関駅　徒歩１０分
- 西武バス　吉祥寺通り入り口下車　徒歩２分

西武池袋線大泉学園駅から吉祥寺駅行き
ＪＲ中央線吉祥寺駅から新座栄・花小金井駅
保谷駅・成増駅・都民農園セコニック行き

学校名　上石神井北小学校　　学級の名称：みつば学級

校長　濱中　一　　副校長　春原　裕太・田向　あかね　　所在地　石神井台５－１－３２

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	５	７	５	７	７	６	３７
	女	３	３	２	２	０	０	１０
	計	８	１０	７	９	７	６	４７

校章
本校周辺は、昔はみつばの産地として有名でした。

すすんで運動

・体を動かすことの楽しさや喜びを味わえるように、体育の授業では、毎時間持久走や体つくり運動を行います。
・学校全体で行われる、なわとびチャレンジやマラソンチャレンジに参加し、持久力等の向上を目指します。



みつばちゃん
開校６０周年を記念して、新しいキャラクターが誕生しました。
今年度は、６５周年になります。

みつば学級の教育目標

やさしく行動

・異学年グループで行う学習活動を充実させます。高学年はリーダーとしての自覚をもち、下級生は高学年の姿を手本にします。また、通常の学級との交流及び共同学習も積極的に行っています。

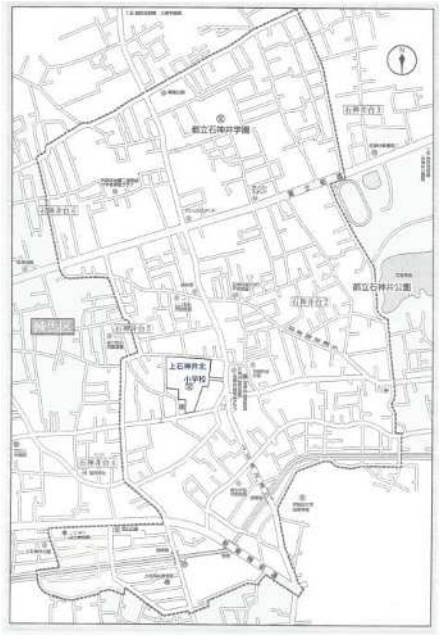
かしこく学習

・国語と算数は少人数の学習グループを編制し、習熟度に応じた指導を行います。
・課題の精選、教材・教具の工夫、ICT 機器の活用等を通して、自分の考えを自分の言葉で伝える力を育みます。

【アクセス】

■西武池袋線
・大泉学園駅
　西武バス　西荻窪行き
　関東バス　西荻窪行き
・石神井公園駅
　西武バス　吉祥寺行き
　上石神井北小前下車　徒歩２分

■西武新宿線
・上石神井駅
　西武バス　成増町行き
　関東バス　大泉学園行き
　上石神井北小前下車　徒歩１分



学校名　谷原小学校　　学級の名称：くすのき学級

校長　伊藤　雄一　　副校長　蠣﨑　将仁　滝澤　礼子　　所在地　谷原２－９－２６

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
６	男	２	８	５	５	４	８	３２
	女	２	２	０	３	３	５	１５
	計	４	１０	５	８	７	１３	４７

谷原小学校
くすのき学級

自分のことを自分でする子
・将来の自立した生活の基盤となる基本的な生活習慣を身につけさせる。

なかよくいっしょに活動する子
・異学年との関わりを生かして、お互いの成長をはかる。
・通常の学級や区内の特別支援学級との交流や共同学習を通して、認め合い育ち合う関係づくりに努める。

くすのき学級の教育目標

すすんで学ぼうとする子
・学習内容や支援方法を工夫・改善して、意欲をもって学習する力をつける。
・繰り返し指導し、基礎的な学力（読む・書く・話す・聞く・計算する）をしっかりと身に付けさせる。

健やかな心と体の子
・心が安定し、自分の居場所と思うことができるような、明るく楽しい学級作りをする。

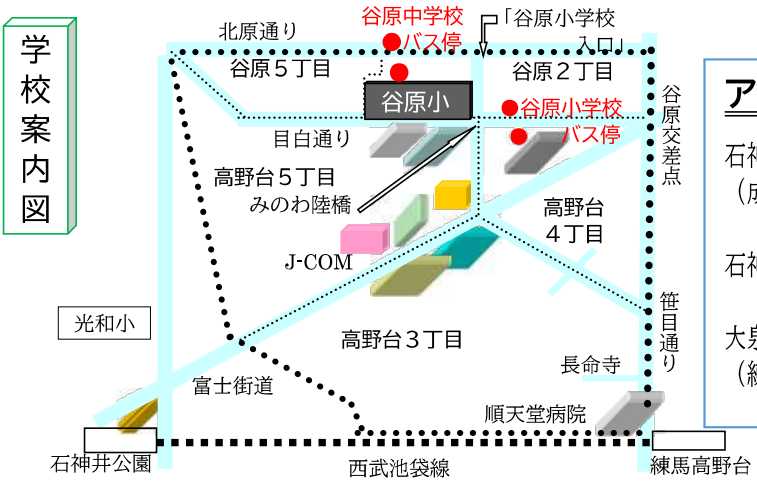
【校内の交流について】

特別支援学級の児童と通常の学級の児童が、共に生活することにより、互いに学び、育ち合う機会としている。

・全校朝会・入学式・卒業式・始業式・終業式・修了式
・社会科見学・校外学習・運動会・音楽会・展覧会
・クラブ・委員会・給食・なかよし交流　など



学校案内図



アクセス　～西武池袋線～

石神井公園駅　北口より
（成増町行バス谷原中学校下車　　徒歩５分）

石神井公園駅・練馬高野台駅より（徒歩１５分）

大泉学園駅　　北口より
（練馬駅行バス谷原小学校下車　　徒歩３分）

学校名　大泉小学校　　学級の名称：５組

校長　小髙　敏男　副校長　半野田　聡　所在地　東大泉４－２５－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	４	１	２	２	３	３	15
	女	３	０	１	２	０	１	７
	計	７	１	３	４	３	４	22

１　５組の教育目標

将来、社会の一員として自立し、意欲的に社会参加できる子ども
- **自分でよく考え、行動できる子ども**
- **生活に必要な能力や技能をもち、生かせる子ども**
- **集団の決まりや社会のルールが分かり、いろいろな人とコミュニケーションを取れる子ども**
- **健康で明るく、最後まで頑張ろうとする子ども**

２　教育目標達のための基本方針

- 児童の障害の状況、性格、家庭環境、生活経験などから児童を多角的にとらえ、個別指導計画を作成し、一人一人の児童の実態とニーズに応じた指導を行う。
- 体験的な学習を重視し、生活に必要な知識・技能を身に付けさせる。
- 学習形態や集団編成を工夫し、個々の発達段階に応じた指導を行う。
- 学校支援シートを作成し、地域、医療、福祉の関係諸機関と連携を図る。
- 人権教育の視点から障害理解の啓発に努め、通常学級との計画的な交流及び共同学習を通して、人と関わる力や社会性を育むとともに、地域で豊かに生活できる力を育てる。

３　週時間割

	月	火	水	木	金
	全校朝会	朝学習		児童集会	読書
1	道徳	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
2	国語	算数	体育	体育	体育
中休み					
3	算数	生活/調理	国語	図画工作	算数
4	生活単元	生活/調理	音楽	図画工作	音楽
給食・昼休					
5	生活単元	国語(図書)	算数	国語	学級活動
6	国語	外国語/総合	生活単元/総合	クラブ/委員会	国語



学校名　大泉第三小学校　　学級の名称：いちょう学級

校長　　髙野　正之　　副校長　　下川　洋平　　所在地　大泉学園町３－２２－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
５	男	４	３	４	４	５	４	２４
	女	２	１	０	２	２	３	１０
	計	６	４	４	６	７	７	３４

〇学校の教育目標

〇　よく考え、進んでやりぬく子
〇　仲よく、力を合わせる子
〇　健康で、明るい子

〇特別支援学級の教育目標

学校の教育目標を受けて、特別支援学級の目標を次のように設定しました。基本的生活習慣を確立し、集団生活に適応できる能力や態度を養います。また、情緒の安定を保ち、意欲と興味をもって力いっぱい活動したり、表現したりする児童を育てます。

〇　自分のことは自分でする子　　〇　さいごまでがんばる子
〇　ともだちとなかよくする子　　〇　じょうぶで元気な子

いちょう学級は、この教育目標を達成するために、以下の具体化を進めます。

自立

自立に向けて、身支度、授業の準備、片付けなど、自分のことを自分でできるように、繰り返し取り組みます。

根気

個に合わせた学習課題を設定します。自分のペースでゆっくり、じっくり学習を進め、定着を図ります。

交流

異学年のグループ編制を生かして、学年に応じた役割意識をもたせ、互いに認め合う心を育みます。

元気

体育やリトミックの学習を通して、体力、持久力、柔軟性を高め、心身ともに健康な児童の育成を目指します。



アクセス

〇西武池袋線
「大泉学園駅」北口より
西武バス
・泉３０　　福祉センター行き
・泉３０－１　新座駅南口行き
乗車約１５分
「大泉第三小学校前」下車　徒歩３分



学校名　大泉東小学校　　学級の名称：さくら学級

校長　小須田 哲史　　副校長　長坂 美貴・田代 知裕　　所在地　東大泉１－２２－１

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
５	男	３	４	５	５	４	４	２５
	女	２	２	０	１	３	３	１１
	計	５	６	５	６	７	７	３６

さくら学級の特色

個別指導を生かした学習や生活

特別支援学級として、習熟度別による学習活動や自立を目指した活動等を通して、個々の能力に応じた指導を行い、児童一人一人の成長を支援します。

通常の学級との交流を深める

通常の学級と併設された学校としての長所を生かし、日常生活や学校行事を通して、交流活動を行い、互いの理解を深めるよう支援します。

学級の設備

児童にとって「落ち着ける環境」となる場所に「学習」と「生活」の場である教室が配置されています。冷暖房完備で、専用のホールやトイレ、シャワーも設置しています。

教育課程

各教科『国語・算数・音楽・図画工作・体育・生活単元学習・総合的な学習の時間　等』

○児童の実態に応じて指導内容を精選し、学習グループを編成したり、習熟度や発達段階に応じた内容・課題を設定したりすることで児童一人一人の能力を十分に伸ばす指導の充実を図ります。
○児童一人一人の特性や能力に応じた教材・教具・指導法を工夫し、自ら学ぶ意欲を育てます。

特別の教科　道徳

○優しく心豊かな関わりがもてる児童の育成に重点を置き、具体的な生活場面において道徳的実践力を高めるよう指導に努めます。
○社会の中で円滑に生活していく上でのきまりやマナーについて指導します。

日常生活の指導・自立活動

○児童一人一人の障害の状況及び能力・適性等を把握した上で、全教育活動を通して自立に向けた日常面・生活面での段階的・系統的な指導を行い、コミュニケーション能力の向上や身体的機能の促進に努めます。

交流活動

○通常の学級の児童や教職員との交流の機会（各教科、日々の休み時間、ペア学年活動、集会活動、社会科見学、大東スポーツフェスティバル、クラブ活動、委員会活動等）を意図的・計画的に設定し、互いに認め合い、助け合う児童の育成に努めます。

生活指導

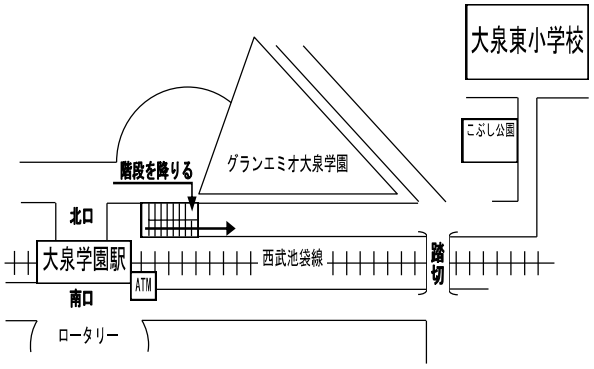
○身辺自立の定着を図り、生活自立へ向けた指導を行います。
○集団への適応・協調性を養う等社会生活への適応を図ります。
○健康・安全に関心をもたせ、自他の生命を大切にする態度を育てます。

進路指導

○児童一人一人が自分のよさや可能性を発揮し、上級学校の見学、体験を通して進学への理解と期待をもつことができるよう工夫します。
○保護者との連携を緊密にし、児童の将来への見通しをもって指導を行います。

特別活動

○学校の諸行事、クラブ活動、委員会活動等に積極的に参加することを通して、集団の一員としての自覚を深め、協力して学校生活を充実させようとする態度を育てます。



学校名　大泉学園小学校　　学級の名称：ひまわり学級

校長　本橋　教子　　副校長　亀岡　良樹　　所在地　大泉学園町４－７－１



学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
４	男	１	０	２	４	６	４	１７
	女	０	１	０	１	２	４	８
	計	１	１	２	５	８	８	２５

こんな子どもに育ってほしい！！

ひとりひとりが、明るく、感性豊かに、自信をもって自分の周りの事象に積極的に働きかけ、心身共にたくましく成長することを目指して・・・

よく見て、聞いて、行動できる子ども

仲良く助け合う子ども

明るく元気な子ども

学習　行事　生活

こんな活動をしています！

楽しく勉強・しっかり勉強

国語・算数は５つのグループ、音楽・図工・生活単元は２つのグループ、体育は学級全体で学習します。子どもたちの課題によって、全体・クラス・グループと集団を分け、“楽しくしっかり分かるまで”を合い言葉に勉強しています。

楽しく交流

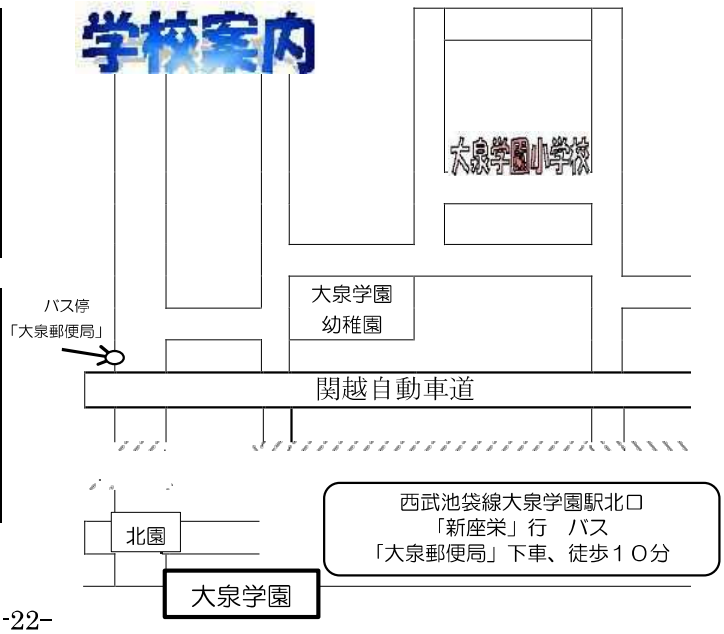
１年生から６年生まで、一人一人の状況に応じて通常の学級の子どもたちとの交流を行っています。体育学習発表会や遠足などの行事、社会科見学、総合的な学習の時間など、さまざまな学習で楽しく関わり、主体性・社会性をしっかり育てていきます。

みんなで作ろう!

様々な体験活動を通して、生活に役立つ知識を身に付けたり、季節を感じたりすることを大切にしています。校外学習でのそり遊びや宿泊学習、お別れ遠足は子供たちが楽しみにしている行事です。お月見やお正月遊びも楽しみます。

どんどん　どどーん　どどーん　どん!

演目を決めて、和太鼓に挑戦しています。基礎打ちから取り組み、リズム・ポーズが決まるまで練習を積み重ねていきます。３年に一度の音楽会では、衣装を着て、発表を行っています。力強い演奏は好評で、大きな拍手をもらっています。



学校名　南田中小学校　　学級の名称：みなみん学級

校長　菅野　僚　　副校長　飯塚　航　　所在地：　南田中５－１５－３７

学級数・在籍児童数（令和８年４月現在）

学級数	児童数	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
３	男	０	１	５	２	２	５	１５
	女	２	２	１	２	０	２	９
	計	２	３	６	４	２	７	２４



みなみん学級

「みなみん」は、南田中小学校の児童に親しまれている名前です。今年度は開校５８周年となります。それに伴って、本校のマスコット「みなみんバード」にも、「５８」の数字が入っています。
今後も、みんなから愛される学級を目指していきます。

考え表現できる子

仲良く協力できる子

気力や体力のある子

学習

学習課題に応じた適切な集団を設定して、小グループでの学習に取り組んでいます。小グループだからこそできる、よく聞く、自分の言葉で発表することを大事にしています。

交流

校内の各学年の子どもたちと年間を通して交流します。ここでは、みなみん学級の子どもたちも主体的に活動できること、そして社会性が育まれることを目指します。通常の子どもたちとの相互理解も重要です。

生活

将来の自立に向けて、自分のことは自分でやります。スモールステップで目標を設定し、できることを増やしていきます。また、自分の役割は最後までやり切る、責任感や気力も生活の中から育てていきます。



こんな子供の育成を目指しています！

